

育成 見附

見附市青少年育成センター

〒954-0051 見附市学校町 2-7-9

TEL 0258-62-5739 FAX 0258-62-2343

E-mail ikuseicenter@city.mitsuke.niigata.jp

見附市青少年育成センター26年度の取組

5月30日に開催された「見附市青少年育成センター運営委員会」で今年度の育成センターの運営について、次のように承認されました。恒例の事業を改善・充実させ、効果的に取り組んでいきます。

運営の目的

青少年の健全育成を総合的に推進する。

運営の方針

- (1) 青少年の健やかな成長を支えます。
- (2) 青少年の非行の未然防止と早期発見に努め、楽しい生活を送るためのアドバイスを行います。
- (3) 青少年の悩みや心配事を、青少年・保護者と一緒に考えます。

主な事業

- (1) 街頭指導事業 <愛の一声で非行防止>
青少年が集まりやすく保護者や学校の目の届きにくい場所を巡回し、非行に結びつくと思われる行為に対し、愛の一声注意・助言等の適切な指導の手をさしのべ、青少年の自省を促すことで非行を未然に防止していきます。
- (2) 育成相談事業 <青少年なんでも相談>
青少年の不登校、怠学、いじめ、非行等の問題行動や悩み事に関する本人、保護者、学校職員、市民等からの相談に対し助言や相談を行います。

相談内容により、保護者の了解を得て、関係学校との連携や関係機関の紹介及び相談の委嘱を行います。

面接相談：水曜日（9時～16時）

面接場所：青少年育成センター相談室

電話相談：月～金曜日（9時～16時）

(3) 青少年育成事業

○環境浄化活動

青少年を取り巻く社会環境について、有害環境の把握に努め、関係業者の自主規制による協力要請を行っていきます。

○青少年育成関係機関・団体との連携

青少年育成の関係機関・団体との連携を深め、対策を協議していきます。

- ・市立小・中学校（シェイクハンド学校訪問）
- ・見附地区学校警察等連絡協議会
- ・見附市子ども支援対策地域協議会
- ・新潟県青少年育成センター連絡協議会

7月は「青少年の非行・被害防止全国強調月間」

内閣府は、昭和54年の国際児童年を契機として、毎年7月を「青少年の非行・被害防止全国強調月間」と定め、関係省庁、都道府県、市町村、民間団体などと連携して総合的な非行・被害防止活動を展開しています。

近年、少子化や情報化、国際化などの急速な進展とともに、家庭、学校、地域等の青少年を取り巻く環境も大きく変化しています。

こうした中、児童虐待やいじめ・不登校の問題、さらにはインターネットを通じた児童売春事件等、児童が被害者となる事件が多発しており、少年の非行防止・保護の両面において予断を許さない状況にあります。

このため、諸機関・団体が相互に協力し、地域が一体となって青少年の非行・被害防止の取組を進める必要があります。

7月は、全国で、国民の非行防止意識の高揚を図り、関係機関・団体と地域住民等とが協力連携して、青少年の規範意識の醸成及び社会環境の浄化などの各種取組を集中的に実施します。

当青少年育成センターは、この月間の趣旨に合わせて次の取組を実施します。◎市民の非行防止意識の高揚 ◎青少年を取り巻く社会環境の浄化 ◎地域における青少年育成活動の推進 ◎いじめ・暴力行為問題への取組強化ほか。

ご理解・ご協力をお願いします。

今年度の青少年指導員の方々を紹介します

街頭指導事業を推進して下さる「見附市青少年指導員」の皆様は次の27人です。
7班編成で市内各所を巡回し、青少年に愛の声掛けをします。出会う多くの青少年から
明るいまいさつをもらい、育成活動に熱が入ります。よろしくお願いします。

(敬称略 ◎印は班長)

1班	◎高橋美佐子	清水芳夫	木原貴徳	北村雅美
2班	◎親松 巖	関口光弘	早田浩延	高橋欣也
3班	◎遠藤春枝	中澤高雄	浪川一也	金安加恵
4班	◎野本秀雄	池田武志	齊藤倫成	見附高PTA生活委員
5班	◎板垣秀幸	佐藤宏子	石澤克彦	星 正則
6班	◎長谷川イウ	永井藤子	田村厚子	小林恵子
7班	◎徳橋良子	若杉信子	吉野敬子	

年間街頭指導予定	
活動回数	69回 (各班7回以上)
従事人数	延267人

※市内の中学校、高等学校の先生6人とPTA役員5人が含まれています。



青少年指導員は、名札(指導員証)と腕章を着けて街頭指導に当たっています。
悪い行為を注意するだけでなく、道行く青少年をあたたかく見守ります。

3月11日

公立高校入試の日で、駅は受験を終えた中学生でいっぱいだった。見附高校を受験した生徒2、3人に声を掛けた。ほっとした安心顔であった。

高校生は学校が休みのため駐輪場は空いていた。きれいに清掃されていてごみはなかった。

3月13日

見附駅の駐輪場は、自転車が少なく整然と並べられていた。駅前駐輪場に落とし物が多くあった。詰め所に届けた。

4月9日

見附駅で、見附高校の1年生に制服のスカート丈について声掛けをした。駐輪場には新しい自転車が
多く、新年度の始まりを感じた。

4月15日

市内の店舗を回った。各店舗とも店員の対応が良く、気持ちよく巡回できた。

移動途中の車から、無灯火自転車運転の男子高校生に注意の声を掛けた。

4月22日

電車利用の学生のいきいきした姿が見られた。見附高校と海聖高校の生徒に声を掛け、高校生活について話を聞いた。

駅待合室の装飾や駅前のプランターの花などに明るさを感じた。

5月7日

女子高校生3人がホームに腰掛けて足を投げ出す危険行為をしていたので、駅員に通報し注意していただいた。その後、ホームに地べた座りを始めたので注意した。素直に注意を聞き入れ、すぐに直した。

6月4日

総合体育館は、車の数は多かったが少年の姿はなかった。

メジャーロードも少年の姿はなく、高齢者や有職者が多かった。

6月10日

街灯の確認をした。島切窪の三叉路交差点付近に増設してほしい。

6月11日

駅近くで自転車2人乗りの高校生2組に声を掛けた。一組は遠くから、もう一組は事情を聞いて注意した。しっかり返事をもらってよかった。

無灯火の高校生に点灯するよう声を掛けた。

駐輪場から公道に出る所で、左右確認せず飛び出す危険な自転車があった。声を掛けると、聞き入れて左右確認する者と聞こえないふりをして出る者がいた。

プラント5で、がん具売り場にいた女子高校生2人に声を掛けた。体育祭で使う鳴り物を探しているとのことだった。